

道徳	第2学年	1年間の学習内容とねらい
----	------	--------------

道徳の目標

- ①具体的な目標をもち、張りのある学校生活を送れるよ
- ②共に語り、共感し、励まし合い高め合うことのできる友情を育てる。
- ③不正を憎み、不正な言動を断固として否定することにより、差別や偏見のない社会の実現に尽くすように努める。
- ④集団生活の向上に努める。

評価の観点・方法

- 【評価の観点】
- ①道徳的心情
- ②道徳的判断力
- ③道徳的实践意欲と態度
- ④道徳的習慣
- 【評価の方法】
- ①観察による方法
生徒たちの自然な姿を観察して記録します。
- ②面接による方法
直接生徒と話し、その考え方や感じ方を把握します。
- ③質問紙などによる方法
あらかじめ作成した質問に対して回答します。
- ④作文やノート等による方法
作文やノート類から生徒が日頃考えていることを把握します。
- ⑤その他
事例研究法や各種問題場面テスト等を利用します。

特色ある学習方法

- ①思考力、判断力、表現力を育む学習
- ②自己評価を取り入れ、自己の心の成長を実感できるようにする方法
- ③生徒同士の相互評価を取り

月	【主題名】・資料名	ねらい
前期	4 [自然への敬愛] 木は生きている	自然の美しさに触れ、美しいもの、神秘的なものに感動する豊かな心をもち、人間の力を超えたものに畏敬の念を深める。
	[誠実に生きる] 父との約束	自ら考え、判断し、誠実に実行してその結果に責任をもとうとする心情を養う。
	5 [きまりを守る] 昼休みの自由	社会生活には、自由と規律のつりあいが大切であることを理解し、自由を大切にして規律ある行動をとろうとする態度を育てる。
	[理想の実現への挑戦] 歌の世界で太陽になりたい	理想の実現を目指し、志をもって力強く生きようとする積極的な態度を育てる。
	[生命の尊さ] あなたに	い文の誕生のときを見つめて、今ここにある生命の尊さを感じる。
	[よりよい社会の実現] ゴミ箱の中の町	社会の一員としての自覚を深め、公の場で必要なきまりを重んじ、協力してよりよい社会をつくろうとする心情を育てる。
	6 [人間愛・思いやり・祖父への愛] 祖父の愛	人間愛にもとづき、思いやりの心で他の人とのかかわりを大切にできる心情を育てる。
	[集団の一員として役目を果たす] 三度目の号泣	集団の一員として心を配り、より大きな目標のために努力する心情を育てる。
	[礼儀] ありがとう	礼儀の意義を理解し、時と場に応じた適切な言動をとろうとする心情と態度を養う。
	[国際理解・人類愛] 危険地帯から実りの土地へ	世界の中の日本人としての自覚をもち、国際的視野に立って世界平和と人類の幸福に貢献しようとする意欲を育てる。
	7 [個性の伸長・充実した生き方] ゴール裏の青春	自らの生活を振り返り、個性や適性を生かして充実した生き方を求めようとする態度を育てる。
	[男女の敬愛] リズム	異性の立場や考えを思いやることの大切さを自覚し、互いに高め合おうとする思いを深める。
	[本当の豊かさとは] 豊かな日本をめざして	社会の一員としての自覚を深め、互いに助け励まし合い、積極的に協力しようとする態度を育てる。
	9 [強い意志] 火影―証明デザイナー 石井幹子の挑戦	希望と勇気を持ち、より高い目標に向かってねばり強くやりぬく強い意志を養う。
	[優れた伝統や文化の継承] 金閣再建 黄金天井に挑む	我が国の優れた文化についての理解を深め、文化・伝統の継承と発展に寄与しようとする心情を育てる。
	[集団の一員としての自覚] 山に惚れた男	集団内での自分の立場や役割を自覚し、進んで自己の役割を果たそうとする態度を養う。
	[支え合う心] 金色の稲穂	多くの人々の善意や支えにより、現在の自分があることに気付き、感謝してそれにこたえていこうとする態度を育てる。
後期	10 [差別や偏見のない公平な心] 張君の笑顔	誰に対しても公正・公平に接することの大切さを自覚を深め、差別や偏見のない社会の実現に努めようとする態度を育てる。
	[勤労の尊さ] あめ細工一石割定治	勤労の尊さを理解し、勤労を通して社会の発展向上に努めようとする意欲を育てる。
	[自然への畏敬・愛護] リンゴが教えてくれたこと	人間と自然とのかかわりを深く認識して、自然の名に生かされていることを謙虚に受け止める心を育てる。
	[心の弱さの克服] 足袋の季節	自らの弱さに気付き、そのうえで弱さを克服していける自分になろうとする態度を育てる。
	11 [人間愛・思いやり] 伝言板	人とのかかわりの中で、温かい人間愛の精神を深め、感謝と思いやりの心をもつ心情を養う。
	[学校を愛する心] 伝統で終わることなく伝説に	学校の一員として支え、支えられていることに気付き、教師や学校を敬愛し、よりよい校風を樹立しようとする思いを育てる。
	[真の友情] あるピエロの物語	真の友情を理解し、心から信頼できる友達をもち、互いに励まし合い、高め合っていこうとする態度を養う。
	[郷土を愛する心] 田植え踊り	地域社会の一員として自覚をもち、地域の文化や伝統を大切にし、郷土を愛する心情を育てる。
	12 [他に学ぶ心] 言葉の向こう側に	個性や立場を尊重し、いろいろなものの見方や考え方があることを理解しして、広い心で学ぶ心情を育てる。
	[家族の絆] 美しい母の顔	父母、祖父母に敬愛の念を深め、家族の一員としての自覚を持って充実した家庭生活を築いていこうとする態度を養う。
	[充実した生き方] 父の仕事	自分の長所・短所を知り、自己理解を深めながら、自分のおかれた状況の中で最善を尽くそうとする態度を育てる。
	1 [自らを律して] 捨てる、捨てない、そして拾う	自分が選んだ行動に率直に責任をとり、自分も社会に対して常に誤りのない行動をとろうとする心情を育てる。
	[自他の権利] だれが犯人？	法やきまりの意義を理解するとともに自他の権利を重んじ義務を果たそうとする態度を育てる。
	[ひとつの命] ブラック・ジャック―ふたりの黒い医者	生命の尊厳について深く考え、かけがえのない自他の生命をいくつしみ、よりよく生きようとする心情を育てる。
	2 [人間の気高さ] 償い	人間の心の弱さや醜さを克服する強さや気高さがあることに気付き、人間として生きる喜びの大切さを自覚させる。
	[感謝する心] 少年の親切はいくらか	温かい人間愛の精神を深め、他の人々に対して感謝と思いやりの心をもって接する態度を養う。
	[友情・信頼] 星置きの滝	友達をもつ意義について考え、互いに信頼して励まし合い、高め合っていこうとする心情を育てる。
	3 [節度と調和のある生活] たゆまぬユーモアは頑健な体をしのご	望ましい生活習慣を身につけ、心身の健康の増進を図り、節度と調和のある生活をしようとする。
	[勤労・奉仕の心] おもかげ復元師	働く中で、やりがいや生きがいを感じるときはどんなときかについての考えを深め、自分の将来に生かそうとする態度を育てる。